



退屈な日なんてほとんどない！

網野高校を卒業後、建築・空間デザインを学ぶ専門学校に進学。京都市内の制作会社で5年ほど働いた後、昨年7月にUターンしました。現在は、地域おこし協力隊として、久美浜町を拠点にまちあるきマップの作成やイベント・祭りのスタッフ、移住支援などに取り組み傍ら、企業パンフレットやロゴ、チラシの作成などデザインの仕事もしています。

京都市内の会社では主にウェブデザインに携わっていましたが、25歳のときに何か形として残るものをデザインしたいと思い、自費でフリーペーパーを発行。都市部で京丹後の魅力を発信するため、大好きな久美浜の海を特集しました。それを見た移住コンシェルジュの方から地域おこし協力隊のお話をいただき、応募することにしました。

京丹後に帰ってきて驚い

たのは、意外と若者が多いということ。Iターンの方も増えていきますし、市を越えた交流も広がってきていて、週末にはいつもイベントに誘ってもらっています。なので退屈な日はほとんどありません。地元で頑張っている人たちとのつながりができたことも、私が帰ってきた理由のひとつです。協力隊の任期を終える平成30年には、デザイン事務所を開業する予定です。デザインの力でまちを盛り上げていけるよう、自分の感性を磨いていきたいです。



デザイナー・地域おこし協力隊

藤原可苗さん (27歳・久美浜町)

外からの目線で魅力を伝える。

3年前、主人のUターンを機に、兵庫県から移住してきました。現在は、京都市丹後鉄道を行くウイラートレインズ株式会社でアテンダントとして働いています。

もともと列車が好きで、こちらに来る前も、新幹線の車内販売や車内改札をしていました。丹後でも列車に関係する仕事に就くことができうれしく思っています。京都丹後鉄道では、観光列車の丹後あかまつ号・丹後あおまつ号、レストラン列車の丹後くろまつ号に乗車し、沿線案内や車内販売、食事の配膳などを担当。



WILLER TRAINS 株式会社

羽賀綾子さん (33歳・弥栄町)

1両編成なのでお客様との距離も近く、短い時間でもたくさんお話しして下さる方もいて楽しく仕事をさせてもらっています。今後は外から見た私の目線でお客様の欲しい情報を伝えていきたいです。

移住する前は知り合いもいないので正直不安でしたが、休みの日には、こども園に通う子どものママ友とランチに行ったり、図書館で読書をしたりして過ごしています。主人の両親も近くにいたので心強いですし、地域の皆さんも子どもを見てくれるので、安心して子育てできますね。